

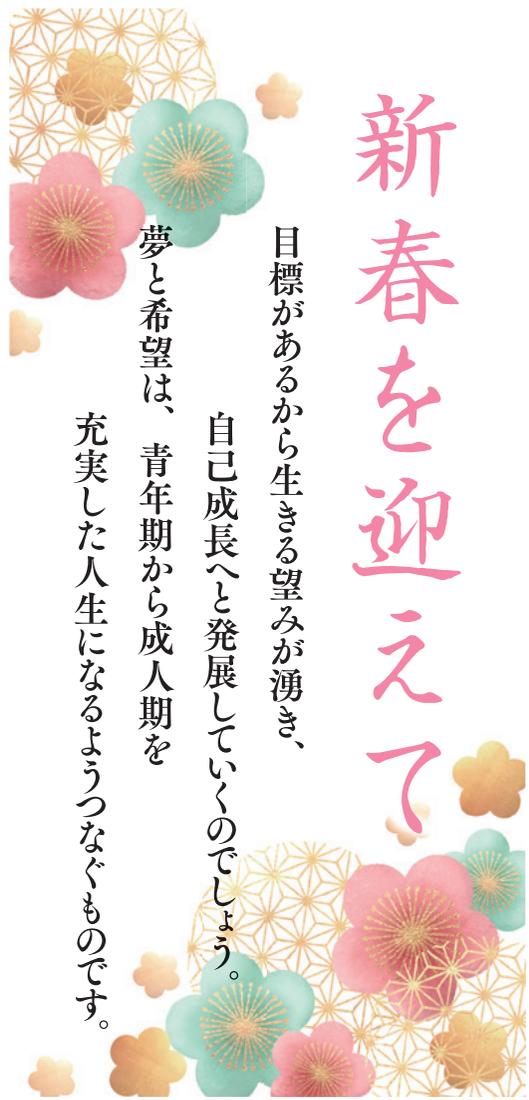
新春を迎えて

目標があるから生きる望みが湧き、

自己成長へと発展していくのでしよう。

夢と希望は、青年期から成人期を

充実した人生になるようつなぐものです。



「挑戦」

指宿養護学校3年 安本 奈月

私は今、指宿養護学校の生徒会長として卒業を迎えようとしています。

実は、1年生の時に初めて生徒会役員に立候補をしましたが、選挙で敗れ、涙した経験があります。でも、2年生になって、もう一度生徒会会長

化させ、成長させてくれることでした。

に立候補することに挑戦とが増え、学校全体のことを考えるようになり、部の人々に支持された。苦手だった人前に立つことも好きになり、この時は嬉しくて、自然と涙が出てきました。生徒会長になると、行事の進行や全校生徒の前での挨拶を任せられるこ

4月からは、私も社会人になります。社会に出たら、今までの挑戦を誇りに思い、胸を張って前に進んでいきたいと思えます。私のペースではありますが、自分を信じて、みんなの役に立つようになり、これからもいろいろなことに挑戦を続けていきます。

「楽しく笑顔で」

加治木工業高等学校2年 田代 颯

「楽しく笑顔で」、これは私が普段から心がけていることです。

それでも、うまくいかない時や心にゆとりがない時は、自然と笑顔がなくなり、そんな時は「笑顔、笑顔」と自分に言い聞かせます。

私が笑顔にこだわるのは、中学校の時に「笑顔は伝染する」という言葉に出会ったからです。一人の笑顔が多くの人に広がっていくのです。笑顔の中にいると、明るく、前向きな気持ちになるのではないのでしょうか。先輩方が冗談を言っ

を和ませてくれました。お陰で緊張は解け、落ち着いた雰囲気の中で本番に臨み、演奏会を成功させることができました。笑顔の大切さを実感できた経験でした。コロナ禍で大変な時代からこそ、人に安心感を与えられるような笑顔、絶やすことなく、残り的高校生活を精一杯頑張りたいと思います。

「主体的に動く」

鶴丸高等学校2年 萩原 のぞみ

2020年のコロナ禍の中、私はアメリカ合衆国への留学という貴重な機会を得ました。渡米後の私には3人のホストシスターがいて、歳が近いこともあって、よく一緒に話をしたり、遊んだりしていました。

ちょうどその頃アメリカでは、4年に一度の大統領選が行われており、各メディアではそれに關する報道が連日なされてきました。ある時、私が部屋からリビングに出ていくと、2人のホストシスターたちがテレビで大統領候補者討論会を見ていました。各候補の主張や質疑応答を聞きながら、彼女たちは自分たちが各候補者の主張についてどのように考えるか、討論し合っていました。15歳と12歳の彼女たちの意見は成熟していない部

分もありましたが、政治を自分たちのものとして捉え、それに対する自分の考えを明確に持ち、表現できているということに驚かされました。私も彼女たちを見習い、この社会に生きる一員として、世の中で起こる様々な問題を他人事と受け流すことなく、自分のことと受け止め主体的に行動していこうと思います。

「新たな挑戦」

大島北高等学校PTA会長 本田 孝

大島北高は奄美大島北部にある学校で全校生徒116人、普通科と情報処理科があります。

生徒たちは学校のスロークン「一人ひとりが主役」を実践するために勉

強や部活動に励み、また地域交流として海岸などの清掃作業をしたり、集落で育まれてきた伝統的な行事や仕事などを長老や名人に聞いたりして後輩たちへ引き継ぐため

残念でなりません。しかしながら、この窮地を乗り越えていく子供たちは将来、何事にも挑戦し失敗や成功を繰り返しながら、後輩たちの道しるべとなり活躍してくれると思います。卒業していく子供たちが様々な場所で活躍し、奄美に新しい風を吹かせてくれることを願います。

「未来をみつめて」

鹿屋農業高等学校PTA会長 外園 龍一

我が校は、農業高校であり、本校正面玄関に「農業に学び、農業に生きる」この言葉が、大きく掲げてあります。この言葉通り、生徒は日々農業から人生を見つめ、目標を持って頑張っているように感じます。

コロナ禍の活動が制限

されたこの状況の中でも、生徒はしっかりとこの現実を受け止めて、畜産GAP取得や旋盤2級試験への取組、測量技術競技大会出場など様々な活動に精進しています。息子は、畜産科で良い牛を育てるための毎日の飼育管理と肉質改善や妊

見聞きし驚きを隠せません。また、PTA活動もオンラインによる講演の視聴など、我々アナログ世代には戸惑うことが多いです。生活様式が変わりつつあるこの社会で、子供たちがどのように成長していくのか、応援し、見守っていききたいと思います。